【「都野神社「焼組香奉納額」文章】

奉納

　きふはきさらぎ初卯、洛南

　男山神楽の御神事、当社之

　御一体分身の御神なれば、

　焚組の供香を催し、聊

　神慮を仰ぎたてまつる事、

　　　　　　　　　志加里、

　　　焼組香之記

立舞袖　　　　　　　内山充美

春日野　　　　　　　江口朋光

わか草　　　　　　　三輪弘高

みゆき　　　　　　　山田重記

玉だれ　　　　　　　江口充興

いにしへ　　　　　　三輪長舊

松かぜ　　　　　　　奥山正秀

遠　里　　　　　　　内藤定賢

かすむ月　　　　　　　　朋光

しのぶ　　　　　　　　　充美

匂ひの袖　　　　　　　　弘高

我　宿　　　　　　　　　重記

芦　垣　　　　　　　　　長舊

男　鹿　　　　　　　　　充興

明ぼの　　　　　　　　　正秀

旅ごろも　　　　　　斎藤吉峰

靍の齢　　　　　　　　　定賢

　　仲春初三　　於社頭開香筵、

　　　　　　　　香許内藤定賢

卯

　　　一炷焼供香

資料№2-3

追加

御祓川　　　　　　　江原利正

松　嵐　　　　　　　河西久隆

浅みどり　　　　　　大澤幸孝

茂　山　　　　　　　田母神成鄰

蝉の小河　　　　　　長明善康

哭　梅　　　　 東武　守随　信

呉　竹　　　　 洛陽　空花恵南

天の戸　　　　 浪花　杭全成政

百　華　　　　 　仝　大口樵翁

人皇一百五代之御宇御香所

　　西三條前内府

　　　　　逍遥院殿實隆公御家之末流

　　　　　　　　　浪花隠士大枝流芳子門人

　　　　　　　 願主 江口氏朋光

寶暦九　　年二月

己

卯

（花押）

于時